

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-5-2	事務事業名 自転車教室事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市内小学校の全学年を対象に自転車教室を実施し、自転車の安全な乗り方及び交通ルールの習得を図り交通事故防止を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)防犯・交通安全の推進(安2-2) (主要施策)交通安全対策の推進
	実施内容、実施方法 校庭に自転車コースを描き、信号機等の交通機材を用いて交通ルール等を指導する。(対応:田無警察署員・交通対策員(囑託員)・職員・交通安全協力員等)また、要望により交通安全映画による視聴覚教室も実施する。	根拠法令等 自転車教室実施要領
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 実施数(学校数)	活動指標の考え方(定義) 自転車教室を実施した学校の数
	成果指標名 参加人数	成果指標の考え方(定義) 自転車教室に参加した人数(人/年)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		582	170	617	835	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		582	170	617	835	
	所要人員(B)	人	0.12	0.14	0.17	0.2	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	990	1,158	1,416	1,666	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	1,572	1,328	2,033	2,501	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(参加人数)	千円	0.76	0.38	0.76		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	校			19	19
		実績値	校	8	9	11	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			5,000	5,000	
	実績値	人	2,081	3,538	2,691		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	実技中止において、再実施の要望がある。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	各自治体独自の交通安全教室を実施。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	校庭を使用するため天候により中止となる場合があり、再実施予定は困難(学校、警察、市との日程調整)

コード 8-5-2	事務事業名 自転車教室事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	実施において年度ごとにばらつきが生じている理由は、天候及び校庭コンディション不良による。 中止の際には、映画(ビデオ)及び講話による教室を実施(活動指標 の実績には含まれていない)。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	最近の交通事故は、交通ルールを守らないことが原因であると言えることから小学生の交通事故、特に自転車利用時の交通事故を防止するためにルール、マナーを含めた自転車教室の実施が必要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	適正な職員配置である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	学校行事予定との兼ね合いで実施できない等の学校もあるが問題ないと考える。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	広報等による交通ルール及びマナーの呼びかけには限度があることまた、小学生の交通事故のうち、特に自転車事故を防止するためには自転車教室を継続する必要がある。 また、市内全小学校で実施できるよう要請、調整する必要がある。

17年度における改善点	雨天等による実技中止の際には、講話や映画を実施しているが、その内容を充実していく。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。